



No.52 2020.5.15

明石市コミュニティ・スクールだより

人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

## コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

### 自宅学習の中でこんな学びも（提案）

市役所の職員情報交流システムの掲示板で「ポストコロナ社会に向けて 兵庫からの挑戦」募集」というのが目に留まりました。



さっそく兵庫県のホームページにアクセスしてみました。そこでふと自宅で学習している子どもたちの新たな学びに使えるのでは？どんな学習が可能になるのか考えてみるだけでも価値があるのでは？と思いました。募集は次の2種類です。<http://web.pref.hyogo.lg.jp/kk07/postcorona/teianboshu/html>

#### 1 コロナ対策の社会貢献事例・アイデア募集

##### (1) 提案の主体

企業、大学、研究機関、地域団体、NPO 等

##### (2) 募集する内容

###### ① 社会貢献事例の情報募集

所属団体においてコロナ危機克服に向けて取り組んでいる、あるいは 今後取り組む予定の社会貢献事例

###### ② 新たな取組のアイデア募集

現下のコロナ危機を乗り越えるための新技術の実装、仕組みの構築等の新たな取組のアイデア

#### 2 ポストコロナ社会のめざす姿の提案募集

##### (1) 提案の主体

研究者、企業・事業者、学生、地域団体、NPO ほか 広く県民の方々

##### (2) 募集する提案の内容

- コロナ収束後に実現したい社会の姿
- その実現に向けた変革の方向性と具体的な取組

募集内容をみると、「2ポストコロナ社会のめざす姿の提案募集」なら、子どもたちが新聞・ニュースを見ながら感じたり、考えたことをベースにして、それぞれの達段階に応じた提案ができるのではと思います。そうしたテーマを持って追及する学びをこの期間にチャレンジされてみてはいかがでしょうか。そうしたチャレンジが教師・保護者・地域の三者がこれからの子どもたちの学びのあり方を考え、理解していくことにつながるのではと思います。あたらしい学校づくりに向けてのスクラップ&ビルドの始まりです。一人で考えるのもよし、メール・ライン等を活用して友だち同士で考えるのもよし。対話の仕方を考え・工夫することも学びであり、「えっ！そんなの勉強ではない」というこれまでのイメージから、教師・保護者も、そして子どもたち自身が脱皮することにつながるのではと考えます。

### ホームページをみながら

各校のホームページの完成度の高さにさすがだなとこの頃驚かされます。GIGA スクール構想が進む中、もし本市で導入された場合、個々の進度に応じた学びにつながるのではと思えるくらいの数学の単元を通しての動画もあります。また、なわとび検定の動画では 1 級を飛べる先生がいたんだと。なわとび検定が貴崎小で誕生して 30 年以上たちます。なわとび検定が貴崎小発祥だと知る先生は市内に何人いるのかな？明石の小学校出身で 40 歳前後の保護者の中でなわとび検定の音楽がなると 1 級をとべる保護者の方は結構いるのではと思います。こうした時期ですが、各校で協働しながら今後の学び意識した教材をつくり、貯めていくことができれば…。各校で教材作りの工夫がされているだけに。 (文責:北本)